

農業共済新聞

ズバリ直言

金丸 弘美

国がインバウンド（訪日外国人旅行者）の受け入れを推進中だ。足元では若い人たちが意欲のある方たちが動き始めている。

典型的なのがゲストハウスで、北海道から沖縄まで空き家などをリノベーションして宿泊施設にしているもの。料理は簡易なものか、宿泊客が自ら作る。あとは周辺の料理店や居酒屋、農業体験などを独自にマップ化し紹介するなどして地域のあるものをうまくつないでゆく。

農村観光のノウハウ形成を

ための英語サイトやマップがある。田園風景、日本の食、たまたまなどその地域らしさを紹介していくことだ。

また、イギリスを拠点に始まったWOLF（世界に広がる有機農場での機会）と呼ばれるネットワ

農村観光だが、宿では食事は出ない。実は農村観光の先進地・イタリアなども朝は軽食で、あとは周辺の好きなところに食べに行くか、宿泊施設のキッチンで自分たちで作るといふスタイルが普通だ。大切なのはそこにたどり着く

ークでは、農村のお手伝いに行く代わり、無料で泊めてもらい、そこでノウハウを学ぶという活動もある。60カ国に広がっており、日本では札幌市（北海道）に事務局がある。

地元で農家宿泊の実践者をはじめ、英語ができる人やWebに詳しい人など、若手で意欲的な人は必ずいる。農村観光はそういう人たちが連携し、できることから広げていくことが早道。そしてそこで得られたノウハウを共有化していくことが大切だ。

（食環境ジャーナリスト、食総合プロデューサー）



公益社団法人
全国農業共済協会

〒102-8411
東京都千代田区一番町19番地
購読 ☎ 03-3263-6413
編集 ☎ 03-3263-6727
月4回・水曜日発行
©全国農業共済協会2018
<http://www.nosai.or.jp/>